

施策番号	0303		
施策名	青少年の成長を支援する環境づくり		
概要	地域社会で青少年を見守り，育て，支援する環境づくりを推進する。また，青少年活動センターを拠点とした情報集約のしくみを作り，青少年対象の事業の情報を青少年に的確に伝える取組を進める。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	3 青少年の成長と参加		
施策に関する 主な分野別計画等	はばたけ未来へ！京都市ユースアクションプランー第3次京都市青少年育成計画ー		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	ユースアクションプラン認証事業数(件)	b	b	177	165	179	92.2%	b	1.00
2	青少年活動センターにおける地域交流事業数(件)	a	a	57	46	58	79.3%	e	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				d	

2 市民生活実感評価 *この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	青少年の成長を支援する社会環境と， 青少年を受け入れる居場所がある。	c	c	17 3.6%	95 20.0%	220 46.4%	95 20.0%	47 9.9%	474
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

D	施策の目的があまり達成されていない					27 年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	d	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 当該施策は市民の生活実感に施策の効果がすぐには反映されにくく、当事者以外にはその効果を実感しづらい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						26 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・認証事業数については、認証事業の広報が不足していたことが原因と考えられる。 ・地域交流事業については、青少年活動センター実施事業全体の見直しの中で、平成27年度については地域交流事業の改廃等が多かったことが考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・子どもの貧困やインターネット・スマートフォン依存、薬物乱用の問題も深刻化するなど、青少年の生きづらさにつながる事象が報道等で取り上げられ、社会的な懸念が高まっており、積極的に青少年の成長支援が行われているとの実感を持ちにくい状況にあるものと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	青少年団体助成	2,297	2,297	普通	文化市民局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・ユースアクションプラン認証事業数については、引き続き認証事業を公益財団法人京都市ユースサービス協会に委託し、より多くの青少年へ情報提供を行うとともに、認証事業及び申請団体の増加を図る。
- ・青少年活動センターにおいて、引き続き、センター近隣における活動の輪を広げられるよう、機会づくりに取り組んでいく。

施策名	0303	青少年の成長を支援する環境づくり				
-----	------	------------------	--	--	--	--

指標名	ユースアクションプラン認証事業数(件)					
-----	---------------------	--	--	--	--	--

担当課	勤労福祉青少年課	連絡先	2 2 2 - 3 0 8 9			
-----	----------	-----	-----------------	--	--	--

1 指標の説明

青少年育成団体等が実施する、青少年の自立、成長を支援する事業をユースアクションプランの趣旨に基づく事業として認証した「ユースアクションプラン認証事業」数

2 指標の意味

青少年の成長支援に関する情報の伝達状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	26年度	27年度		数値	根拠	
数値	177	165	12件減	179	平成32年度の目標値達成のために当年達成すべき数値(平成32年度の目標値から各年度の目標値を等差的に算出)	92.2%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		190件	32年度	86.8%	「京都市ユースアクションプラン」行動計画改定版	

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：85%以上100%未満
c：70%以上85%未満
d：55%以上70%未満
e：55%未満

6 基準説明

達成度100%以上をa、以下15%刻みで按分した。

7 評価結果

26	27	28
b	b	b

1 指標の説明

青少年活動センターで実施されている青少年と地域との交流事業の件数

2 指標の意味

青少年の地域社会への参加状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	26年度	27年度		数値	根拠	
数値	57	46	11件減	58	平成32年度の目標値達成のために当年達成すべき数値(平成32年度の目標値から各年度の目標値を等差的に算出)	79.3%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		65件	32年度	70.8%	「京都市ユースアクションプラン」行動計画改定版	

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：95%以上100%未満
c：90%以上95%未満
d：85%以上90%未満
e：85%未満

6 基準説明

平成32年度の目標値の達成には相当の努力を要するものの、年次ごとの目標値を上回ることとは不可能でないため、達成度100%以上をa、以下5%刻みで按分した。

7 評価結果

26	27	28
a	a	e